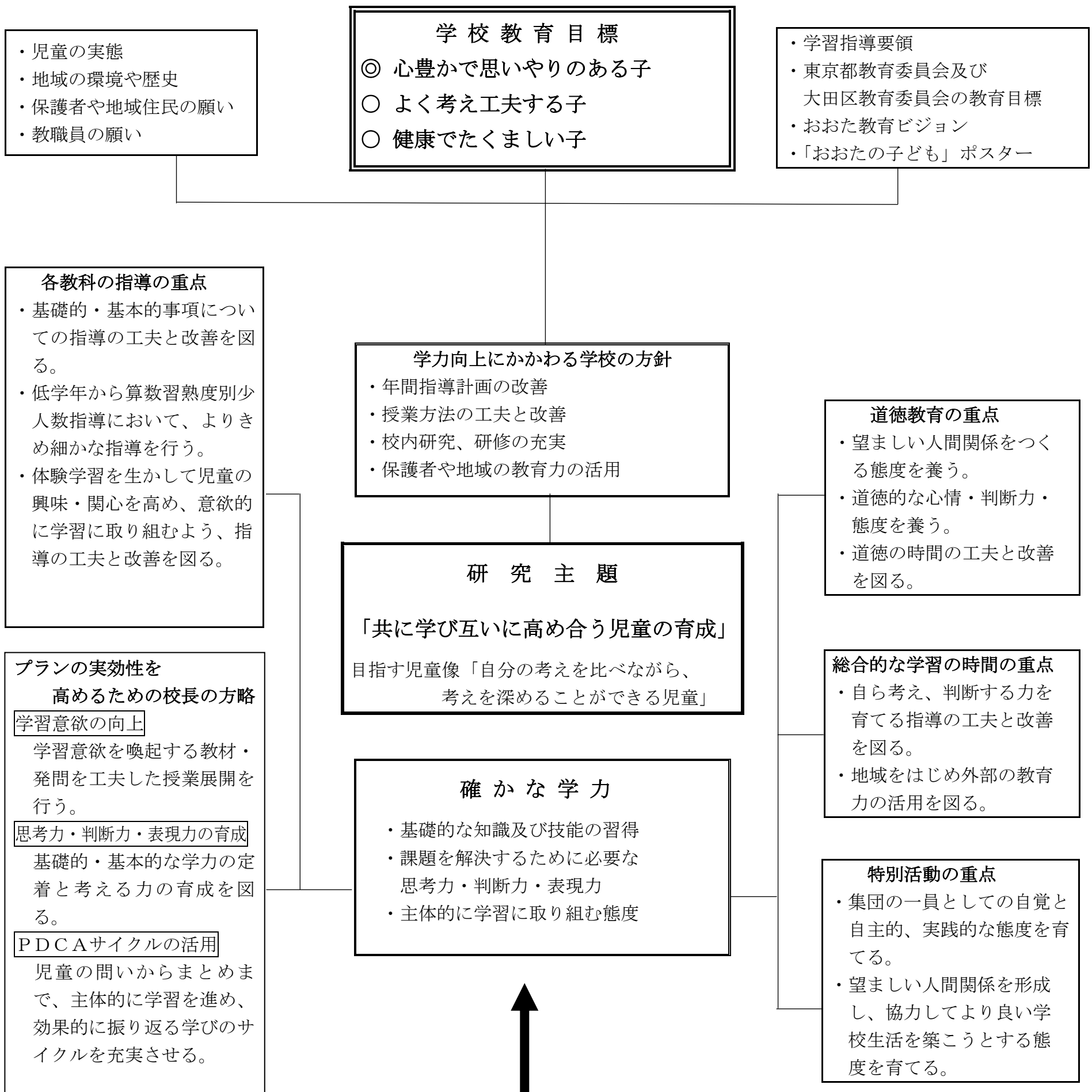


令和五年度 馬込第二小学校 学力の向上を図るための全体計画



| 授業改善に向けての取り組み | | | | |
|--|--|---|--|---|
| 指導方法の工夫 | 教育課程上の工夫 | 校内研究の取り組み | 評価の工夫 | 家庭・地域との連携 |
| <ul style="list-style-type: none"> 国語では「書くこと」「読むこと」について、言葉による見方・考え方を育てる指導の工夫をすすめる。(本校の研究教科) 算数では、基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、図や数直線を活用し、考え方の根拠となる指導内容の工夫をすすめる。 年間を通し補習教室を実施。学習指導講師を活用する。 ICT機器の活用。(ドリルパークなどを活用して学習内容の定着を図る) | <ul style="list-style-type: none"> 馬二タイム(朝学習)を活用し、学級の実態に合わせて漢字や計算の学習を行う。 3～6年の週一回の放課後算数補習教室、全学年の土曜算数補習教室を実施し、児童の学力向上を図る。 特別支援学級と通常の学級との交流を深めるとともに、特別支援教育の充実を図るための研修を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 児童同士が自分の考えを伝え合う場面を設定する。 試行錯誤が行うことができ、客観的に振り返られる表現活動を設定する。 「考えを深め合う」ことについての共通認識を教員同士で行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 評価委員会を設置することで、授業計画の中の評価の位置付けを明確にする。 1～6年の各学年の評価基準を評価委員会で話し合い、評価内容を精査し、共通理解を図り、全体として評価基準の活用をすすめるとともに、毎年の指導計画や児童の実態に即した内容に改善する。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民をはじめとする外部の教育力を活用することで、本校教育活動の理解を図る。 地域教育連絡協議会の活性化を図りながら、学校関係者評価の結果を学校運営などに生かしていく。 学校支援地域本部(スクールサポート馬二)を活用することで、地域との連携を深め、本校の教育活動の理解を更に推進する。 |